

炊き出しカレーも

昼食は食育、防災訓練なども兼ね、学校林の特設会場で炊き出しカレー作り。児童らは

各テントで食材のニンジン、タマネギ、ジャガイモを切り、大鍋でカレーを作り、羽釜でご飯を炊き上げた。事前に5、6年生が家庭科室で9^{キロ}の米とぎの下準備。5年の大嶋毅輝さん、6年の増山紬斗さんは「緊張したけど何とかとげた」と話していた。



④松原さんの指導で大豆をまく園児⑤種まき終了後は松原さん手作りのみそでおにぎりタイム

茂木保育園が空土ファームとタッグ 食育の一環でみそ造り

園児らが大豆の種まき

寒仕込みのみそ造り 町小井戸の茂木保育園に取り組んでいる茂木（雲乗貞樹園長）の年

少から年長までの園児7人と保護者が、同町林地区にある空土ファームほ場で大豆（小深在来）の種まきを行った。

同園の食育の一環

で、有機農業を実践する同ファームの松原努代表（55）とタッグを組んでみその原料となる大豆を育てるところから実施している。園児らは保護者とふ

かふかの土の感触を味わいながら、松原さんの優しい指導で楽しそうに種まき。根津織君（5）は母親のみゆきさん（38）と「おおき

ながら指で土に穴を開け3粒ずつ投入。鳥に食べられないように土でふたをしていた。

一仕事の後には自宅から持ち寄ったおにぎりタイム。松原さんが仕

込んだ2年物のみそを付け、おいしそうに頬張っていた。

この後は、枝豆まつり、収穫。来年3月には園内でみその寒仕込みを行う。

災害時宿泊施設を提供

益子町と益子館が協定締結

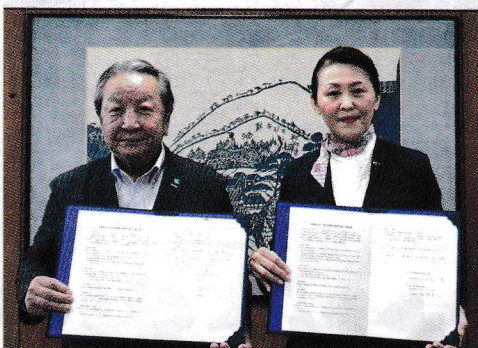
能登半島地震をはじめ、近年、各地で大規模な地震や集中豪雨な

ど、さまざまな自然災害が頻発し、被害に悩んでいる現状を受け、益子町はこの（令和四）年の台風19号に伴う豪雨災害が起

るルサンシャイン益子館と「災害時における宿泊施設の提供に関する協定」を締結した。

「町民の生命と暮らしを守り、防災・減災に向けた取り組みをしっかりと進めたい」と話し、協定が大きな後ろ盾になると期待した。

高橋社長は「昨年の能登半島地震の際には同業者や被災者の大変な状況を聞いている。明日は我が身と危機感を強めている。一緒に町を守っていきたい」と話した。



協定を結んだ 高橋社長（右）と広田町長

協定締結式には広田茂十郎町長と同ホテルの高橋美江社長が出席した。

広田町長は「災害時に支援を必要とする高